

ABOUT THE JAPAN OBSERVATORY

JOB(ジャパンオブザーバトリー) について



President of Milano Unica

会長：アレッサンドロ・バルベリス・カノニコ氏

「日本素材は様々な特徴があり、品質も高い。MUに高品質な素材をそろえるうえで、日本は伊にはない魅力を補っている。重要な出展国です。」

特にイタリアでも人気の高いカットソーやデニム、テクニカル素材を扱う日本企業や革新的な素材、サステナブル素材に力を入れている企業がMUに参加頂けることを期待しています。



President of JFW

JFW 理事長：三宅 正彦氏

2005年にスタートしたMilano Unica（MU）は10年間EU圏外の出展を認めていない展示会でしたが、JFWが2008年から6年の交渉期間を経て、遂に2014年9月にEU圏以外で初の出展を果たしました。

以後、ジェトロと共に継続的に展開してきたThe Japan Observatory（JOB）は、回を重ねるごとにMUの中でもその存在感を高めています。

今年はスタートから10周年を迎えます。バイヤーのおもてなしに加え、MUカクテル場でもジャパンの魅力を発信していきます。

輸出には資金・人材・経験値が必要と言われますが、中々3拍子揃った産地企業は見当たりません。それでも輸出意欲が高い企業であれば、JOBの主催者であるJFWの企画力とジェトロが持つ国際的なネットワーク力を発揮して出展者をサポートして行きます。

多くの方々が、JOB事業をご理解いただき、ご出展いただけると幸いです。



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

1

日本素材が集積するJOBのプレゼンス

継続的に展開してきたJOBは、回を重ねるごとにMUの中でもその存在感を高めています。

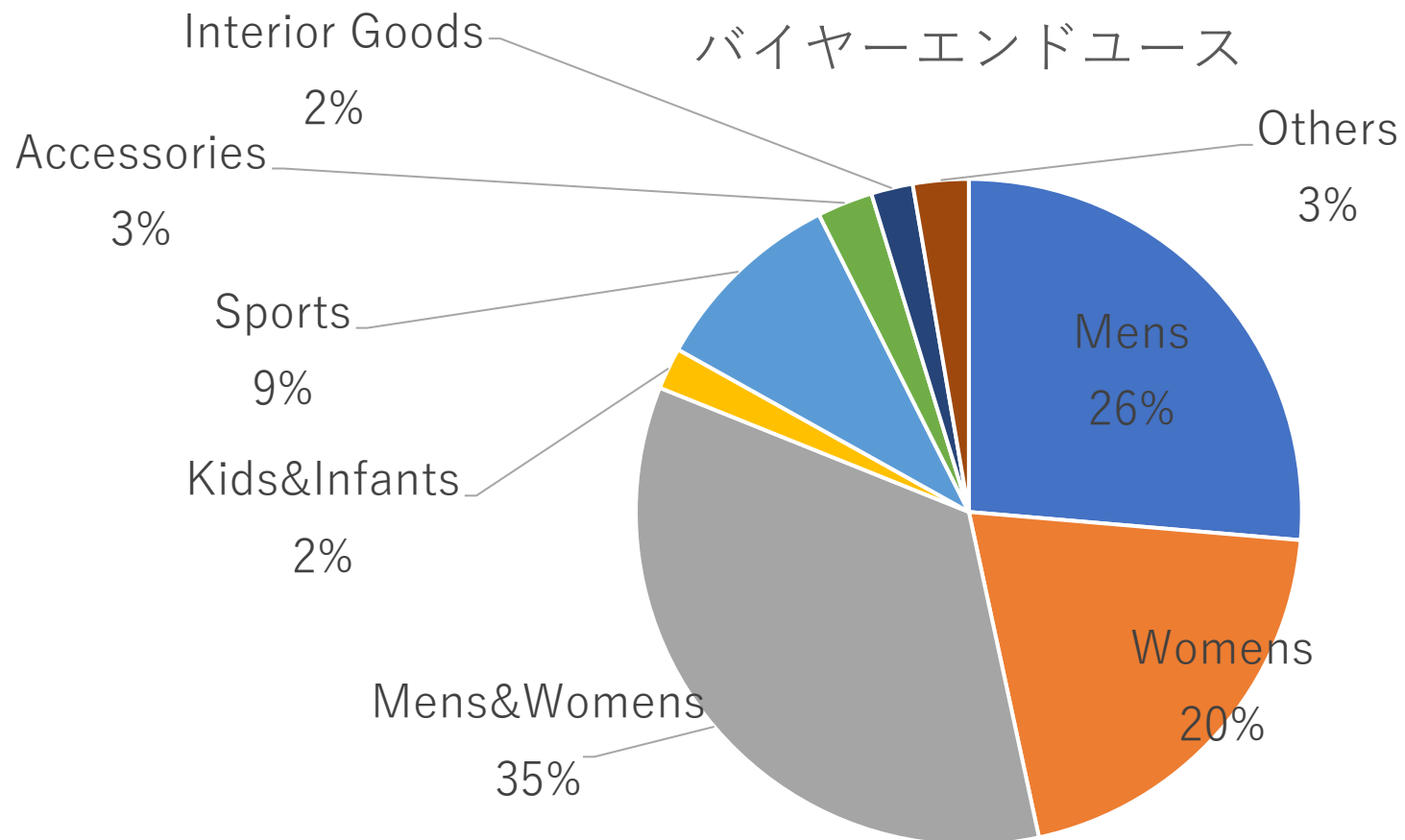
日本のテキスタイルの魅力、ものづくりに対する真摯な取り組み、付加価値に対するバイヤーの認知と評価、日本素材に対するニーズと期待を高め、リピート来場も定着してきました。

バイヤーにとっては、品質の高く信頼性のある多彩な日本素材を一堂に把握できる魅力があります。

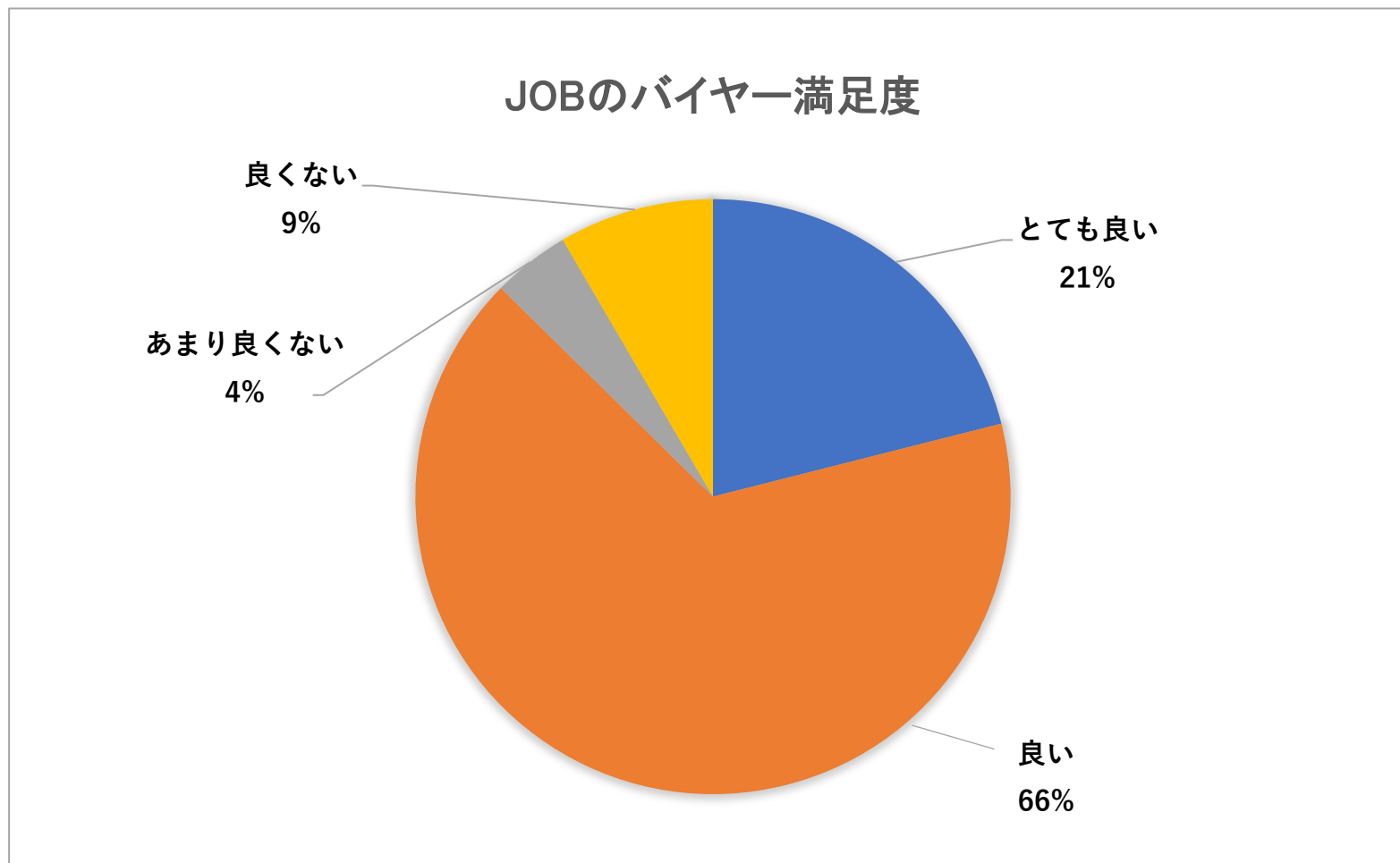
JAPAN
Observatory



JOB来場者カテゴリー



JOBのバイヤー満足度



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

2

集客力あるJOBトレンド&インデックス

JOBエリアのゲートウェイとして、毎回多くのバイヤーを集めるJOBトレンド&インデックス。バイヤーアンケートでも、ここを楽しみに訪れたとの声が挙がるほど。

JFWトレンド・テーマをストーリー性ある空間デザインで発信し、JOB出展者素材を展示演出。バイヤーのクリエイションと素材ソーシングを喚起し、JOB出展者ブースに誘引します。

JAPAN
Observatory



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

3

ジェトロによる充実したサポート

ジェトロのグローバル・ネットワークを通じて、事前に欧米ハイエンド・バイヤーに直接アプローチし、JOBエリアへの誘致活動をしています。

会場では、バイヤーの求める素材のニーズを聞き出し、JOB出展者ブースに誘導することで、ビジネスマッチングを促進しています。

JAPAN
Observatory



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

4

多様なJOB出展ブースの選択肢

JOBの出展ブースは、18㎡、26㎡、36㎡、52㎡のブースサイズ、またはその組み合わせから出展者のニーズに合わせて選択できます。

※MUブースは24㎡の倍数のみ、グループ出展は不可。

中小企業向けには、上述ブースサイズを複数企業でシェアする形の9㎡ブースのメニューを用意しています。

また、JOBだけの特例として、組合・団体での出展も可能とし、産地の強みをアピールすることができます。

このほか、人材を派遣しての出展ができない中小企業を対象とした、渡航を伴わない素材出品だけの「JOB plus」継続を予定しています。

JAPAN
Observatory



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

5

JOB出展者サポート＜伴走支援＞

MU出展に関する開催・運営・諸申請、JOBトレンド&インデックスへの提案素材やブースでのビジネス対応素材、日本・イタリア間の渡航に関する注意事項・安全対策の最新情報などについて、JOB主催者よりアドバイスを致します。

現地での万一の病気、けが、事故、盗難等のお困りごとについても、JOBスタッフによるサポートをしますので安心です。

JAPAN
Observatory



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

6

JOB_PR活動

国内外の業界専門紙誌、ウェブメディア、上述のジェトロによるハイエンドバイヤーへの誘致活動を通じて、JOBへの関心喚起を促進しています。



THE JAPAN OBSERVATORY の魅力

7

JOBに来場する有名ブランド

AKRIS, Alexander McQueen, Alexander Wang, BALENCIAGA, BALLY, BRUNELLO CUCINELLI, CELINE, Chloe, Diese, Dior, DOLCE & GABBANA, FENDI, Giorgio Armani, GIVENCHY, GUCCI, HERNO, Icicle, JILSANDER, Lacoste, LANVIN, lulu lemon, Maison Kitsune, Maison Martin Margiela, MARNI, Michael Kors, MONCLER, Paul Smith, PRADA, Ralph Laure, Stella McCartney, Stussy, Supreme, Tom Ford, Vivienne Westwood

他（前回2023.7展実績より）

JAPAN
Observatory



Contact to

問い合わせ先



一般社団法人日本ファッションウィーク推進機構（JFW）
テキスタイル事業 事務局



03-6805-0791



mu@japancreation.com



jfw_textile_div



募集締切

2023年10月6日（金）

JOB募集リンク

<https://www.japancreation.com/job/2025ss/application/real/>

JOBplus募集リンク

<https://www.japancreation.com/job/2025ss/application/plus/>